

特集 表彰学生プロジェクト

～第11回（2024年）理学部同窓会賞 受賞者にインタビュー～

化学科 岸拓朗さん

南7号館一階ロビーにて

2024年7月26日

インタビューアー 神山和士 真船貴代子



—最初に今の状況を教えてください

今は大学院に進学をして、草間研究室で有機化学の勉強をしています。

有機化学の中でも反応開発と言われる分野で、新しい反応を見つけて、社会に役に立つ化合物を作る基礎研究を行っています。

卒業時の研究と同じです。

—分かりやすく説明して頂けますか。

具体的には、私が使っているのはアシルシランという化合物を反応させて、新たな化合物を合成する研究を行っています。

過去の先輩の研究を引き継いで行って、天然物の合成に役立つような化合物を合成できることがわかりました。

合成できる化合物が有用であるというテーマで、その反応を開発して行って、実際に天然物の全合成に役に立てようという目標があります。また、反応としても、非常にユニークで新しいものです。

—4年生の時はどこまで卒業研究が成功したのですか。

研究の内容は詳しく話せませんが、新たな化合物の合成と反応の収率を挙げることに成功しました。今は更なる収率向上に向けて研究を進めています。

—おもしろいですか。

おもしろいです。大変なところも結構あるのですが、狙ったルートで化合物が取れてきた時はとても嬉しいです、先生ともディスカッションをして自分の考えた良いルートでいった時は嬉しいです、楽しいです。

—その化合物は論文などに出したことがあるのですか。

私の行っている研究ではまだ論文になっていません。

これからさらに知見をためて、将来は論文にしたいです。

—研究で学会に行ったりするチャンスはまだですか。

発表する機会は、この9月ぐらいにいただけそうです。有機合成の発表と若手の発表、有名な先生方の講演を聞くのと同時に若手が発表をする機会があって、それに出させてい

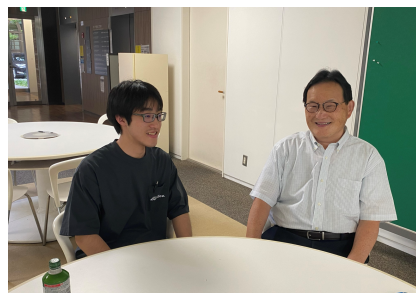
ただくことになっています。

―場所はどこですか。

新潟です。

―ポスターですか。

ポスターです。



―大学生活全般についても伺っているのですが。

ずっと勉強していて、勉強づけの日々でした。1年生からコロナ期間で家にいる機会が多くて勉強するようになったのです。高校まではそんなに精力的には取り組んでなかったのですが、本格的に勉強を始めたのは大学に入ってからで、大学に入って勉強の面白さに気付いてそこからがりと。

―化学科を選んだのは何かありますか。

有機化学には高校の時から興味があって、一番印象に残っているのがお手洗いの消臭剤に使われている薬品が授業にそのまま出て来たときに、すごく身近に感じたわけです。周りの物が有機化合物で出来ているというのを高校で習って、これを人の手で作れるんだということに感銘を受けて興味を持ちました。

―理科は小さい時から好きだったんですか。興味があったとか。

親の影響もありますが、夏休みの自由研究は精力的に行っていて、何回か賞を頂いたことがあります。

有機とは全然違いますが、親が理系の仕事に就いていまして、力学を利用したおもちゃを作ってみたり、モーターで動くロボットを作ってみたりしました。一つ覚えているのは、洗濯ばさみで遊べるゲームみたいなのを小学1年生ぐらいの時に作って、楽しかった記憶があります。

―楽しそうですね。いずれにしても理科系、科学の感じで、なかなか利発な幼年期をお過ごしですね。

―1年2年生時はコロナだったのであまり実験などはなかったのですか。

1年生の時は一歩も外に出ないというか大学に行くことがほとんど無くて、2年生の時は、学校に来て実験をしたのは3回だけでした。

―家でZOOMでの授業ですか。

そうですね。研究室によっては資料を配られて、それを読んで問題を解いて下さいという教授がいたり、ZOOMで授業をして下さる教授もいたりしました。

3年生は、しっかり毎週大学に来て、週3で火・水・木と実験がありました。お昼から始まって夕方午後3時・4時ぐらいまで実験していたという感じでした。

―同級生とはそんなに接触がないままに1・2年生は済んだ感じですか。

私は指定校推薦で大学に入っていて、指定校推薦では、高校3年の12月ぐらいに事

前に集まる会がありまして、そこで多少交友関係はありました。その友人たちとネットでコミュニケーションを取りながら授業を一緒に行っていました。

—今同じ研究室で同級生は何人ぐらいですか。

今、同級生は私を含めて7人です。男性が4人、女性が3人です。

—研究室で何かしたことはありますか。

研究室旅行が毎年企画されていて、コロナ期間の間は出来てなかったらしいのですが去年久々に開催されました。皆で集まってバーベキューをして、夜にお酒を飲んで、教授や助教、研究室のメンバーとより中を深めた感じです。

—草間研究室は大きな研究室なのですか。

前は今 M2 の先輩が1人、2つ上の先輩が3人しかいなかったのです。私の代に入ってから人数が一気に増えて、4年生が7人も入って来て、M2 の先輩が大変そうで、迷惑をかけてしまっていますね。

—この先5年後、10年先をどのように捉えていますか。

ざっくりだと有機化学に関する仕事に就きたいと考えていて、特に農薬系、農業系の道に興味があります。農薬も結局、有機化合物で人の手によって合成されて、今行っている研究よりもよりシビア、人に無害でなければならないとかコストの面を考えて行かなければならないとか、その点での研究が面白そうです。あと食に携わっていたいという思いも強くて、農薬なら有機化学の分野の事も生かれますし、実際に私たちの体の中に取り込んで体を作っている食にも関われると考えています。

—インターシップは行っていますか。

インターシップはまだ申し込めていない状況でして、これから申し込みます。

—マスターで就職することですか。

博士課程ですることとも考えたりしましたが、基本的にはマスターで就職予定です。

—趣味はどうですか。

最近は何となく研究室にいますので中々出来てないというのがありますが、言ってしまうと有機化学が趣味になってしまうのでしょうか。家も遠くて千葉の蘇我から通って大学に来て、朝から夜まで実験をして帰って来る毎日です。

勉強の楽しさに気付けたのが自分の中で大きくて、学んで自分の物にしてテストとかレポートで発揮して評価していただけると自分が成長出来ているのを実感出来ます。

—夜は、草間研究室は何時までというのがあるのですか。

コアタイムはなくて、基本的に夜8時ぐらいに帰りますが、遅いと夜の9時ぐらいまで研究をします。学校に泊まることはないです。

—趣味は有機化学？

あとはイラストの鑑賞が結構好きで、元々アニメが趣味だったので、イラストの展示会に高校の友人と一緒によく行きます。

風景画が好きで、一人特に好きな方で夜空の絵を描く方がいまして、将来は絵を描いても楽しそうだなとか考えています。イラストの鑑賞・風景画の鑑賞は有機化学とは真逆だなと感じていて、すべて自分の感情の中で完結出来るというか、理論が全然絡んでこないところなので、それを見て自分の中で消化して楽しむというのがけっこう好きです。一緒に行く友人とお互い感想を言い合って、なるほどそういう視点もあるんだというのも刺激になっています。

スポーツは、高校まではテニスをしていました。

中学は軟式で、高校は硬式です。最近は出来ていないですが、またやりたいですね。

—好きな食べ物は何か。

好きな食べ物は冬瓜です。親が作ってくれるのですが、冬瓜と豚バラを煮たのがあってそれがとても好きです。一度、めっちゃ旨いといったら良く作ってくれるようになりました。お寿司とか海鮮丼とかお刺身も好きです。かつおのたたきもポン酢で食べるのが好きです。

—甘いものはどうですか。

甘いものは好きです。たまに無性にパフェとかを食べたくなります。

—お酒はどうですか。

お酒はあんまり好んでは飲まないですけど、皆で飲む会では飲みます。

研究室の草間先生は日本酒が好きで、研究室の集まりでは良く日本酒が出るんですけども、それがきっかけで最近は少し日本酒に興味があります。

ワインが好きな同期とか、先輩はウィスキーが好きだったり、みんな結構お酒を飲みます。お酒を飲むならお酒っぽいのが好きっていうのはあります。甘いのだと別にお酒じゃなくていい。ビールとか日本酒とかアルコールを感じるものが良いですね。

—渋いですね。

—趣味は有機化学で、充実した大学生活をお過ごしですね。有難うございました。